

ライフデザイン学科 (令和4年度以降入学生) 履修系統図

「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)

<p>【教育課程の編成、教育内容】 ライフデザイン学科は、知識・技能を活用しながら学びの視野を広げ、問題を解決する力(ジェネリックスキル)と資格取得をとおして各分野の学びを深める力(スペシャリスト)の育成を基本的な考えとしています。教育課程の編成と実施については、建学の理念を土壌に、基幹科目として「ライフデザインゼミナールⅠ～Ⅳ」「キャリアデザイン」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」を配し、社会で求められる基礎学力やデータ処理能力を身につけます。その上で、専門科目として「ビジネス・ICT」「医療事務」「フード」「ファッション」「インテリア」「トータルビューティ」「ブライダル」「グローバルカルチャー」の8フィールドの各科目を開講し理論的な知識を学び、実践的な実習・演習によって知識・技術を定着させ、さらに各種資格取得で学びを深めます。また同時に、地域連携活動を主としたプロジェクト型学習で知識・技能を活かし広げる教育を実施します。 (1) ビジネス・ICTフィールドの科目群は、社会で働く心構えを始めとして、さまざまなビジネス環境で求められる仕事の基本を学びます。ICT・IoT・AIなどについての知識・技能を深め、必要な情報やデータを的確に集め活用する能力を養います。 (2) 医療事務フィールドの科目群は、医療事務や医師事務作業補助者の知識や良好な人間関係を築く方法について学びます。 (3) フードフィールドの科目群は、食品の栄養や調理法、食空間の演出、行事食を通じた食文化などについて学びます。また、実習では料理や製菓の楽しさを知り、技術を身につけ、健康を支える食生活を実践する力を養います。 (4) ファッションフィールドの科目群は、健康で快適な衣生活を営むための素材学や衛生学の知識を身につけます。また、個性を表現するための感性を養い、パターン製図やソーイングなど基本的な衣服製作の技術を身につけます。 (5) インテリアフィールドの科目群は、生活の中にある雑貨や家具などのインテリアについて学び、空間をイメージしてデザインする力を養います。また、色彩についての基礎知識を学び、コーディネートする技術を身につけます。 (6) トータルビューティフィールドの科目群は、健康で美しい身体を作るための肌や爪の生理学を学びます。また、メイクやネイルの技術を実習・演習を通して身につけます。 (7) ブライダルフィールドの科目群は、婚礼の歴史や慣習などについて学び、プランニングや司会法などブライダル業界に必要なスキルを身につけます。また、ブライダルフラワーの演出技術を学びます。 (8) グローバルカルチャーフィールドの科目群は、外国語(韓国語・英語)の基本的な会話力を身につけます。また、グローバルな視点で異文化について学び、一方で、茶道を通して日本の伝統文化について理解を深めます。</p>	<p>【教育方法】 (1) 基幹科目である「ライフデザインゼミナールⅠ～Ⅳ」「キャリアの基礎Ⅰ・Ⅱ」「キャリアデザイン」「情報処理演習Ⅰ・Ⅱ」では、2年間をかけて、社会で求められる基礎的な学力やデータ処理能力などを段階的に身につけます。 (2) 「ビジネス・ICT」「医療事務」「フード」「ファッション」「インテリア」「トータルビューティ」「ブライダル」「グローバルカルチャー」の8つのフィールドで展開する専門科目では、セメスター(半年)毎に自分の興味・関心に合わせて科目を選択し、見直ししながら学修します。同じフィールドを変更することで学びを深化させ、より自分にあった学修プランを作り主体的な学びを促します。 (3) 講義科目では、理論的な知識を学び、実習・演習科目では、実践的に知識・技術を定着させます。そして、学びの集大成として、プロジェクト型学習への参加や各種資格取得を目指します。</p>	<p>【学修成果の評価方法】 (1) 教育課程における学修の成果は、別に定めるアセスメント・ポリシーをもとに評価します。 (2) 科目の特色に応じて定期試験、小テスト、課題提出などにより評価します。アクティブ・ラーニングとして行うグループワークや発表などの学修態度や意欲も含め、総合的に評価します。 (3) 実習・演習では、実践での学修態度を重視して評価します。制作した作品や課題について、制作マップや実習ノートなど完成に至るまでの過程や、制作発表時のプレゼンテーションボードなども含め、総合的に評価します。 (4) 各種資格の取得は、学修の目標、意欲、成果として位置付け、評価します。 (5) プロジェクト型学習を通じた地域連携活動への参加は、学習の意欲、実践力の成果として位置付け、評価します。</p>
--	---	---

